

令和 8 年度第 1 回運営委員会 議事概要

- ・開催日時 令和 8 年 6 月 1 2 日（金） 1 0 時 0 0 分～ 1 2 時 0 0 分
- ・出席者 運営委員・・・・・・・・・・ 1 4 名出席（欠席委員： 1 名）
 ウィズセンター・・・・・・・・ 所長、次長、職員（計 4 名）
 人権・男女共同参画課・・ 課長、総括副参事（計 2 名）

議事	概要
1 開会	
2 議事	
令和 8 年度事業の概要について	ウィズセンター、人権・男女共同参画課説明
〔質疑等〕委員	・スタンプラリーの取組について非常に興味がある。お金をかけずにイベントを行うにあたり、どのようなミッションを考えているのか。
ウィズセンター	・子どもがメインなので、各施設（社会就労センター協議会・ゆうあいセンターなど）を回って男女共同参画クイズや実際のボランティア体験など、楽しみながら団体の活動を知ってもらうような内容に工夫している。
委員	・前年度に実施した市町村への地域ヒアリング（アウトリーチ）の結果について、各自治体の課題がどのように令和 8 年度の事業に生かされているか教えてほしい。
ウィズセンター	・ヒアリングを通じて、市町村の課題は「体制」「予算」「方法論（何をどうすればいいかわからない）」等であることが分かった。令和 8 年度はヒアリングの結果を踏まえ、出前講座の利用促進、サテライト講座（オンデマンド配信の会場提供）、県が作成した啓発用資材の提供など、お金や手間をかけずに市町村が取り組みやすい提案を行っていきたい。
委員	・少しでも多くの市町村に広まるよう、今後も一緒にできる体制をとりながら、継続して行ってほしい。
委員	・DV 相談件数が減少している要因は何か。また、相談員の体制や相談後の対応、マザーズハローワークとの連携事業の効果性（費用対効果）について知りたい。

議事	概要
ウィズセンター	・DV 相談の減少は、令和 6 年 4 月にウィズセンターの配偶者暴力相談支援センターとしての機能が廃止され、同じ建物内にある女性相談支援センターに集約されるなど、DV 被害者支援の窓口の一元化が図られたことが主な要因だと考えている。 ・相談は経験豊富な相談員 3 名体制で、丁寧に対応しており、必要に応じて女性相談支援センター等の支援機関や専門の弁護士等の相談につないでいる。 ・マザーズハローワークとの連携は、主に女性の就労相談へのスムーズな接続のためにマザーズハローワークの事業をウィズセンターで実施しているものである。
委員	・映画のつどいの DVD 購入や、20 年前から更新されていない貸出パネル（4 コマ漫画形式）のリニューアル、X や YouTube ショートなどの SNS 活用をさらに進めてほしい。
ウィズセンター	・映画の購入やパネルのリニューアルについては、上映権付きのメディア（DVD 等）が非常に高価であるなど、難しい面もあるが、ご意見を参考に前向きに検討したい。
委員	・マザーズハローワークの相談等について、ネット検索時にヒットするようなキーワード選定、デジタルマーケティングや SNS での体験談発信などの工夫が必要ではないか。また、全国男女共同参画機構（JGEPA）と県・センターのかかわりについて教えてほしい。
ウィズセンター	・検索対策や具体的な相談の体験談の SNS 発信など、利用者目線での広報手法について大変参考になるご提案として検討したい。
人権・男女共同参画課	・JGEPA（男女共同参画機構）は国の機関として調査研究や人材育成、自治体後方支援を行うもの。地域の中核拠点としての連携はウィズセンターが担い、民間団体等とも有機的に協働していきたい。
委員	・防災に関する出前講座はすばらしい。「こども防災マイスター講座」において、食べるだけでなく「トイレ問題（簡易トイレの実験）」などの導入や、開催時期・曜日（夏休みや金曜日・平日の活用など）の柔軟な検討を提案したい。
ウィズセンター	・講座の内容は集客にも直結する重要な課題として認識している。いただいた意見を踏まえ検討したい。

議事	概要
委員 ウィズセンター 人権・男女共同参画課 3 閉会	・男女共同参画の視点を地域の防災計画や避難所運営（人権擁護等）にしつかりと反映させていくことが重要である。 ・県や市町村の防災部局とは、今後さらに連携を図っていく方針である。